



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.ims.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,841	13.1	57	—	△11	—	14	—
27年3月期第1四半期	12,236	△2.0	△182	—	△128	—	△253	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 239百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △454百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.30	—
27年3月期第1四半期	△5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	61,992	31,574	50.7
27年3月期	60,452	31,530	52.0

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 31,458百万円 27年3月期 31,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	28,000	6.7	250	442.6	300	109.7	150	106.2	3.08
通期	58,000	4.7	700	84.7	800	114.3	500	259.5	10.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	49,466,932 株	27年3月期	49,466,932 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	714,845 株	27年3月期	712,214 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	48,753,613 株	27年3月期1Q	48,763,219 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、医薬品医療機器等法が制定され、異業種からの新規市場参入が加速するとともに医療機器に対する安全性や品質等への要求が一層強まる一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、薬価・材料価格を引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「かけがえのない生命のために」という創業精神に基づき、「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方のQOL (Quality of Life)の向上」をテーマに掲げ、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ16億5百万円増加の138億41百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

利益につきましては、為替による外貨建ての仕入金額の増加があるものの、増収の効果により営業利益は57百万円（前年同四半期は営業損失1億82百万円）となりました。また、持分法による投資利益を計上した一方で、たな卸資産廃棄損を計上したことにより、経常損失は11百万円（前年同四半期は経常損失1億28百万円）となり、法人税等調整額において繰延税金資産を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億53百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

血液透析装置の販売が増加したことに加え、白血球除去フィルター付血液バッグの販売開始により、売上高は99億54百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。また、セグメント損益については、増収の効果があるものの、たな卸資産廃棄損の計上等により2億円の損失（前年同四半期は2億71百万円の損失）となりました。

②東南アジア

北米向けの成分献血用回路の販売が好調に推移したため、売上高は50億70百万円（前年同四半期比20.6%増）となりました。また、セグメント損益については、労務費の増加等により44百万円の損失（前年同四半期は51百万円の損失）となりました。

③中国

中国国内向けのAVF針（血液透析用針）の販売が減少したものの、円貨換算額の増加により売上高は9億32百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。また、セグメント損益については、円建て売上取引にかかる利益の減少により、前年同四半期に比べ78百万円減少の29百万円の損失となりました。

④ドイツ

オーストラリア向けの透析チェアーの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は7億99百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入金額増加により61百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

⑤アメリカ

北米向けのAVF針の販売が増加したため、売上高は7億42百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。また、セグメント利益については、販売費の増加があるものの、増収の効果により12百万円（前年同四半期比126.4%増）となりました。

⑥その他

売上高は5億20百万円（前年同四半期比18.3%増）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億39百万円増加の619億92百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億88百万円増加の352億20百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億50百万円増加の267億72百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12億99百万円減少の193億10百万円となりました。この主な要因は、設備関係支払手形の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27億95百万円増加の111億7百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加の315億74百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加であります。

なお、自己資本比率は1.3ポイント低下の50.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想数値について、平成27年5月8日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,711	5,769
受取手形及び売掛金	16,233	15,730
商品及び製品	6,863	7,091
仕掛品	2,342	2,347
原材料及び貯蔵品	3,254	3,353
その他	1,120	1,023
貸倒引当金	△94	△95
流動資産合計	34,431	35,220
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,464	7,588
その他（純額）	13,590	13,899
有形固定資産合計	21,055	21,488
無形固定資産		
	627	601
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,341	4,686
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,337	4,682
固定資産合計	26,021	26,772
資産合計	60,452	61,992

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,264	7,946
短期借入金	4,770	4,268
1年内返済予定の長期借入金	1,627	1,720
未払法人税等	54	47
製品保証引当金	9	9
賞与引当金	1,094	657
資産除去債務	21	21
その他	4,767	4,640
流動負債合計	20,609	19,310
固定負債		
長期借入金	6,374	9,101
役員退職慰労引当金	85	75
退職給付に係る負債	675	699
資産除去債務	236	240
その他	940	990
固定負債合計	8,312	11,107
負債合計	28,922	30,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,253	12,073
自己株式	△277	△278
株主資本合計	29,749	29,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528	704
為替換算調整勘定	1,140	1,185
その他の包括利益累計額合計	1,668	1,889
非支配株主持分	112	115
純資産合計	31,530	31,574
負債純資産合計	60,452	61,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	12,236	13,841
売上原価	9,199	10,475
売上総利益	3,037	3,366
販売費及び一般管理費	3,220	3,308
営業利益又は営業損失(△)	△182	57
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	42	93
その他	36	33
営業外収益合計	96	147
営業外費用		
支払利息	23	32
為替差損	9	37
たな卸資産廃棄損	—	139
支払手数料	3	1
その他	6	7
営業外費用合計	42	217
経常損失(△)	△128	△11
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	2	7
特別損失合計	2	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△131	△19
法人税、住民税及び事業税	87	43
法人税等調整額	28	△81
法人税等合計	115	△37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△246	18
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△253	14

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△246	18
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	175
為替換算調整勘定	△283	45
退職給付に係る調整額	0	—
その他の包括利益合計	△207	220
四半期包括利益	△454	239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△465	235
非支配株主に係る四半期包括利益	10	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,878	2,161	368	817	569	11,796	440	12,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	985	2,044	491	2	—	3,523	—	3,523
計	8,864	4,205	860	819	569	15,319	440	15,759
セグメント利益 又は損失(△)	△271	△51	48	92	5	△175	36	△139

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△175
「その他」の区分の利益又は損失(△)	36
セグメント間取引消去	△115
持分法投資利益又は損失(△)	42
その他の調整額	83
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△128

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,948	2,461	368	799	742	13,320	520	13,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,006	2,608	564	0	—	4,178	—	4,178
計	9,954	5,070	932	799	742	17,499	520	18,020
セグメント利益 又は損失(△)	△200	△44	△29	61	12	△200	30	△169

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△200
「その他」の区分の利益又は損失(△)	30
セグメント間取引消去	57
持分法投資利益又は損失(△)	94
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△11